

みんぱく 公開講演会

私たち人類は  
どこへ行くのか？



スイカで踊る  
クジラを祭る



生き物と人  
共生の風景

2016年 **11/10** (木)

18:30~20:40 (開場17:30)

[定員] **600名**

※要事前申込/先着順

[会場] **日経ホール**

(東京都千代田区大手町1-3-7日本経済新聞社ビル3階)

[参加費] **無料** ※手話通訳あり

主催



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

日本経済新聞社



## 講演1 「生き物の地球から人間中心の世界へ」

### 〈講演要旨〉

地球の歴史にとある時間感覚を持ち込もう。大ざっぱにいうと過去5億年が多様な生き物たちの生きてきた時間だ。他方で、人類は二本足で歩き出して500万年。ホモ・サピエンスは20万年。家畜を手にして1万年。文明などただか5000年である。一瞬にして傲慢なまでに支配者面で振る舞うに至ったこの生き物の正体は何か、考えてみたい。

## 遠藤 秀紀

(えんどう ひでき)

東京大学総合研究博物館教授  
作家



「遺体科学」を提唱。博士（獣医学）。大量の動物死体と起居を共にし、解剖することで進化の歴史を明らかにする。現代人の死生観、生命観を斬りつつ、いまを生きる。著書に、『東大夢教授』、『人体 失敬の進化史』、『パンダの死体はよみがえる』、『哺乳類の進化』など。

## 講演2 「現代文明からみた生き物 —クジラなどの野生動物の利用と保護をめぐる—」

### 〈講演要旨〉

人類は地球環境の中で生き抜くために、クジラやアザラシなど野生動物を食料や道具の原材料として利用してきた。ところが21世紀以降の文明社会では人類と野生動物の関係が、利用から保護へと大きく変わりつつある。クジラやアザラシなど野生動物の利用と保護の事例に基づいて人類と生き物の共生のあり方について考える。

## 岸上 伸啓

(きしがみ のぶひろ)

国立民族学博物館・  
総合研究大学院大学教授



文化人類学・北方先住民研究。博士（文学）。極北先住民イヌイトやイヌピアットの捕鯨や獲物の分配について研究。著書に『クジラとともに生きる』、『捕鯨の文化人類学』、『贈与論再考』など。

## 講演3 「野生と文化からみた生き物 —栽培化や家畜化が変えた野生の風景—」

### 〈講演要旨〉

野生スイカは、数千年前にアフリカで栽培化されてその後世界中に広まった。そして現在、育種が進められ種が産業化され文明のスイカになった。一方で現在、アフリカスイカのアミノ酸（シトルリン）が健康のために注目されている。野生、文化、文明と展開する人類の社会進化の考え方は正しいのか。家畜や栽培植物の利用と保護に焦点を当てて考える。

## 池谷 和信

(いけや かずのぶ)

国立民族学博物館・  
総合研究大学院大学教授



生き物文化誌学。博士（理学）。「狩猟採集民」からみた地球の歴史を明らかにする。自然、文化、文明の相互作用が課題。著書に『山菜採りの社会誌』、『人間にとってスイカとは何か』、『地球環境史からの問い』など。

プログラム	17:30 開 場	19:10 講演2 岸上 伸啓
	18:30 開 会：阪本 浩伸 (日本経済新聞社執行役員・大阪本社編集局長)	19:35 講演3 池谷 和信
	18:35 挨拶：須藤 健一 (国立民族学博物館・館長)	19:55 休憩
	18:40 概要説明：池谷 和信	20:10 ハネルディスカッション 遠藤 秀紀 × 岸上 伸啓 × 池谷 和信
総合司会：野林 厚志 (国立民族学博物館・教授)	18:45 講演1 遠藤 秀紀	20:40 終了

## ◆申込方法：

### 申込フォームの場合

国立民族学博物館  クリック

国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。  
<http://www.minpaku.ac.jp/>

### 往復はがきの場合 ※申込締切日 10月25日(火)

往信の宛名面	返信の文面	返信の宛名面	往信の文面
〒565-8511 国立民族学博物館 研究協力課		住所・氏名 ご自分の	①郵便番号 ②住所 (返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号 ⑤参加者氏名 (本人を含め5名まで) ⑥11月10日 公開講演会

往信面に下記①から⑥と返信面に申込者の住所・氏名をご記入のうえご応募ください。

①郵便番号 ②住所(返信用宛名面にも) ③年齢(任意) ④電話番号  
⑤参加者氏名(本人を含め5名まで) ⑥11月10日公開講演会

【宛先】〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館 研究協力課  
※参加申込された方の個人情報は本講演会のみで使用いたします。

◆お問い合わせ先:国立民族学博物館 研究協力課 TEL06-6878-8209



### ●東京メトロ

- 千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
- 丸ノ内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
- 半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩約5分
- 東西線「大手町駅」中央改札より徒歩約9分
- 「竹橋駅」4番出口より徒歩約2分

### ●都営地下鉄

- 三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分
- 地下鉄「大手町駅」下車C2b出口直結